

団体名 八重瀬町立 新城小学校	連絡先 TEL : 098-998-2203 Eメール : aeh-vp@yaese-edu.jp
----------------------------------	--

1 実践事項 (①)

タイトル：「主体的・対話的で深い学びのある道徳科の授業改善を通して」

2 実践内容

これまでの国語科で培った児童の表現力を生かしながら今年度は道徳教育を窓口教科とし児童が「真剣に考えること」「共に語り合うこと」「教師が指導の明確な意図を持つこと」をねらいとした授業改善を目指す

(1) 校内研主任を中心とした理論研究

道徳の授業を始める前にオリエンテーションを実施することを共有し、その進め方について学習する場を設けたり、本校の実践の方向性について確認した。

(2) 学校OJTを活用した授業の相互参観の実施

研究を先行して進めている教師の実践を参観する機会を設けたり、研究会を行い主事の先生から講評を頂き学校としての方向性を確認したりする場を持った。また、一人1授業で全職員が道徳授業を行い授業改善への意識を持つことができた。

(3) 主事を招聘した公開授業の実施

①畿央大学 「島 恒夫教授」による授業参観及び助言により児童が主体的になるためのポイントや深い学びについて学習する場となった。

②東京学芸大学「永田 繁雄教授」による授業参観と講話により本校の授業改善の視点の方向性の確認と今後の授業の進め方について学ぶ機会となった。

(4) 保護者への授業公開

授業参観日に全学級、道徳の授業を実施し学校の方針や道徳授業の理解を知る機会とした

3 説明資料



↑ 代表授業



↑ 授業研究会



↑ 道徳研究発表会

4 成果

- ・学校での道徳授業の進め方について共通理解ができ統一した進め方ができるようになった。
- ・発表会の際に、町内小中学校職員や幼稚園・保育園・こども園の先生方を招くことにより本校児童の実態を理解したり発達段階を確認することに繋がったことが感想から伺えた。

5 課題

- ・道徳科と他教科との関連性を明確化する。身に付けた力を波及させるための計画立案